

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和元年度 第1回松阪市景観計画改正検討委員会
2. 開催日時	令和2年1月24日(金) 午前10時00分から午後0時02分
3. 開催場所	松阪市船江町1392-3 松阪公民館 講座室2
4. 出席者氏名	(松阪市景観計画改正検討委員) 浅野 聡(委員長)、中村 貴雄、宮本 公夫、 松田 ますみ、門 暉代司(委員長代理) (事務局) 建設部部长: 長野 功 建設部次長: 伊藤 篤 都市計画課長: 笠井 賢一 景観担当主幹兼景観係長事務取扱: 松野 直樹 景観係: 亀谷 佳伸
5. 開催および非公開	公開(議事(3)(4)は非公開)
6. 傍聴者数	1名
7. 担当	松阪市建設部都市計画課景観係 電話 0598-53-4166 FAX 0598-26-9118 e-mail tos.div@city.matsusaka.mie.jp

令和元年度 第1回松阪市景観計画改正検討委員会議事内容

1. あいさつ

2. 議事

- (1) 令和元年度景観交流会実施結果について（報告）
 - (2) 令和元年度景観絵画コンクールについて（報告）
 - (3) 重点地区候補について
 - (4) 重点地区における施策について
- (3)(4)については、個人情報等を含むため非公開とします。

- 事務局 ・あいさつ（長野部長）
・配布資料の確認
・傍聴者の説明 等
- 事務局 それでは議事につきましては委員長にお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願ひ致します。
- 委員長 お忙しい中、令和元年度第1回松阪市景観計画改正検討委員会にご出席いただきましてありがとうございます。それでは資料に沿って進めていきたいと思ひますので、適宜ご意見などありましたらよろしくお願ひ致します。
それでは、委員会の成立の可否について事務局から報告をお願ひします。
- 事務局 ・委員出席人数報告、松阪市景観計画改正検討委員会設置要綱により委員会成立の報告
- 委員長 ありがとうございます。本委員会は成立しています。皆さん事項書をご覧ください。本日の議事は4つあります。議事の1番目と2番目は報告事項ですので、これらは一括して事務局から報告をお願ひしたいと思います。
- 事務局 ・(1)(2)について報告
- 委員長 最初の議事の景観交流会ですが、私は出席する予定だったのですが、急病で出席できなくて申し訳ありませんでした。この中で出席された委員の方、当日はいかがでしたか。
- 委員 住んでいるところの近くなのでよく通っていますが、最近、所々解体や様子が変わっていますが、自治会役員も順次変わっていくので、継続して盛り上げていくのは中々難しい状況になりつつあるように感じました。
また、昭和55、6年頃に東京電気大学の建築の生徒達が町並み調査をされて、海側の方の米銀さんの倉庫から忘井へ行くまでの区間の外観図を作成されたものを私が所持していましたが今回自治会へお渡しさせていただきました。その時の図面と比較しても解体されたところが3軒位あり、相当様子が変わってきているように感じています。
- 委員長 20年前のナショナルトラストの町並み調査のときや、重点地区指定の話を持って行ったときにもよく残っていました。重点地区指定後に解体などが進んでいますので、市場庄町で今回景観交流会を開催したのは、再び活性化につながる1つのきっかけとなればということで企画されたと思ひますが、市場庄の活性化につながりそ

うな交流会になりましたか。

事務局 自分達が住んでいる地域に色々な歴史的な資源があることや、その背景などを再認識してもらえたと考えています。活動されている方の高齢化が進んでいるので、若い方を取り込んでいきたいというのは各地域共通の意見、認識でした。

委員 活動の拠点となっていた格子戸の会のいちのやが閉まってから、地元の方の残していこうという意識が薄れたように感じます。中村さんにもう一度活動しませんかという話をしても、会員も高齢化しており難しいようです。やはり自治会で拠点となるようなところがあれば、また意識も変わって来ると思います。

委員長 いちのやが公開されていたときには、近鉄の企画のウォーキングなどもあったりしてかなり賑やかだったと思います。拠点があれば、今回委員が寄贈された図面を展示できますし、週末にイベントなど起こりやすい状況となり観光客も来ると思います。地域の方々の生活だけではなかなか活性化しないので、外から人が来ることが、地域が活性化する 1 番いいきっかけとなります。市場庄の活性化は、各委員が言われたように地域の人の意識の活性化だと思えます。そのきっかけとして拠点整備が以前から課題として挙がっているので、引き続き検討していただけたらと思います。

委員 地域には熱心な方もみえますので、何とかきっかけになればと思います。

委員長 松阪の城下町には資料館などがあり、そこが案内する拠点になっており、中万もそういう方向で持っていけたらと思います。他の町でも大体そういった拠点があり、外の人の受け入れ先になっています。そういうものがあると外から人が来て活性化し、地域の人も問題意識を持ってくれます。今の最大の課題は外から人が来なくなり、内側の人の日常風景になってしまい、あまりまちづくりが活性化しない状況にあることです。それが建物が壊されてしまう背景につながると思いますので、今回地元の自治会の方も参加し再認識していただいたということですので、しばらく途絶えていた景観の担当者の方と市場庄の方との定期的なコミュニケーションを続けていっていただけたらと思います。

委員 重要な参宮街道ということで、説明していただけるガイドがいなくても、歴史が分かるような説明板を観光交流課とも連携していただいて数か所設けていただけたらどうかと思います。

委員長 解説板の設置も検討課題として考えていただけたらと思います。

委員 小野江町は武四郎の生家が整備され地元が管理を任されたことで時々イベントを

行うようになっていきます。昨年は武四郎の記念事業があったことの影響もあると思いますが賑わっており地域が活気づいていました。市場庄でも関心の高い方はみえますので、自宅を公開し人が集まるところができるといいなと思います。六軒町のある人は現在 99 歳で元気ですが、今後の町並み保全のことを心配してみえます。

委員 跡を継がれる方がみえないというのが現状のようです。

委員 そういった歴史の古い家には昔の消防用具やひな人形などがあり、それぞれの家に宝が眠っていると思いますので、所有者の同意も必要ですが見られる機会をつくっていただけたらと思います。

委員長 重点地区指定後のフォローが足りなかったのが反省点であり、重点地区指定後もコミュニケーションを継続していかないと、意識が保たれず廃れていってしまうということがよくわかりましたので、市場庄の活性化に向けて色々と手立てを考えていくということで進めていただけたらと思います。今回の景観交流会は大切さを思い出すという意味でいきっかけになったと思います。

続いて景観絵画コンクールについてですが、審査員もされた委員の方いかがでしたでしょうか。

委員 子供たちの目線からの町並みや松阪の建物が描かれており楽しむことができ、力作もありましたので続けていってほしいと思います。また、古い建物でなく日常生活にあるごく普通の風景が描かれている印象的な作品もありました。

委員 所有者、作者の了解などが前提になると思いますが、心を打つような絵が揃っている作品に描かれた現地に作品を飾ることができれば面白いかもしれません。

委員長 絵画コンクールの今後の活用ということで意見をいただきました。来年 10 年を迎えるので、10 周年イベントができるいいと思います。松阪発の景観絵画コンクールを参考にして伊勢市、津市、志摩市など周辺市にも広がっていて、小中学生にふるさとの良さを再認識してもらえ、景観絵画コンクールは、啓発事業にフィットしますし、各学校さんの協力も大きいと思います。10 年続いているのは大変いいことですから少しパワーアップして、先ほど委員が言われたように 10 年間描かれてきた絵をまとめて現地に置けるように掛け合ってみたり、寄贈してもらえる方は寄贈してもらったり色々やり方があると思います。また、これまで入選された作品の対象となった場所はどこが多いのかなど、集中と分散の傾向がわかるマップができるいいと思います。

委員 お金に換算していいのかわかりませんが、作品を手に入れたという方がみえた場合に、図書券位を対価にやりとりができる機会をつくっていただくといいのでは

ないかと思えます。

委員 10年経ち町並みも変化していると思いますが、描かれた絵がどこから描かれたのか、町並みを散策しながら探すスタンプラリーなどの企画も面白いと思えます。

委員長 大々的なことは難しいかもしれませんが、いつもやっている内容を少し変化させた、10年間の活動をうまくPRできるものができたらいいなと思えます。第1回目の入選者の方は20歳を超えている方もみえると思うので、パネリストとして招待して当時の作品を見て故郷に対する思いなど聞いてみると、みんなで松阪のよさに気づいていくきっかけになるかもしれません。また、議事1に関連して市場庄も毎年必ず力作の入賞があるので、自治会の人に来てもらってなぜ市場庄を作品にしたのかという理由を、自治会の方に聞いていただければ活性化を後押しできると思えます。

事務局 景観絵画コンクールについては、募集の段階から長い期間をかけて準備しており、表彰式のあとの交流会についても、毎年趣向を凝らしながら実施しているところですのでよろしくお願いします。

委員長 長く続いたのはすごい成果であり、来年の10周年でうまく今までの成果を反映できるように楽しい企画にしていだけたらと思えます。

・(3)(4) 非公開

事務局 ・あいさつ(伊藤次長)